

## 各部の名前とはたらき

**各部の名前とはたらき**

- ピーコアンテナ入力コネクター
- デジタルサラウンドプロセッサ(CY-AC300D)用コネクター (PCM/ドルビーデジタルOUT) DVDソフト再生時など、5.1chサラウンドシステムなどで映画館と同じような迫力のある音で再生できます
- ボイスコントロール用マイク入力コネクター
- 拡張ユニット用接続コネクター (下記参照)
- 音声出力コネクター (AUDIO)
- 映像出力コネクター (VIDEO)
- RGBコネクター (VGAディスプレイユニット専用です。)
- 電源コネクター
- 電源コード
- FM多重受信用アンテナ接続コネクター
- アンテナまたはFMアンテナ変換コードを接続する端子
- 接熱用ファン
- 取り付け時に物でふさがないようにしてください。

**PCM/ドルビーデジタルOUTから出力される音声信号について**

再生するディスク	音声記録方式	出力される音声信号
DVD	ドルビーデジタル	ドルビーデジタルのビットストリーム
	リニアPCM	リニアPCM (48 kHz/16 bit) (2 ch)
ビデオCD	MPEG1	出力せず

**お願い**

当社指定のデジタルサラウンドプロセッサ (CY-AC300D) 以外のデコーダーとのデジタル接続は絶対に行わないでください。耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

**お願い**

車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、販売店にご依頼ください。必ず、付属の中継コードをご使用ください。

**お願い**

この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のまま車速信号取り出し箇所の方向に接続してください。

## 電源コードを接続する

**電源コードを接続する**

- ビデオコントロールコード (緑/赤: 5 m) → チューナーユニットのデータ1へ (DVDビデオ再生時に映像と音声に自動的に切り替わります。)
- イルミネーションコード (橙/白: 4 m) → 車の照明電源へ (または圧着式コネクター) → 車のバッテリーへ (常時電源が供給されている端子へ接続してください。)
- バッテリー電源コード (黄: 5 m) → 車のACC電源へ (エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりになるため販売店にご相談ください。)
- アクセサリ電源コード (赤: 5 m) → 車のACC電源へ (エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりになるため販売店にご相談ください。)
- アースコード (黒: 2 m) → 車体の金属部へ (ナビゲーション画面時において、画面の明るさが一定でないもしくはエンジンの回転数に比例したノイズが出る場合は、チューナーユニットの電源コードのアースとナビゲーション本体の電源コードのアースを同じ場所に接続してください。)
- ナビミュートコード (橙: 5 m) → オーディオのナビミュートコードへ (ナビミュート機能搭載のパナソニック製カーオーディオで使用します。)
- サイドブレーキコード (青/黄: 5 m) → 「サイドブレーキコードを接続する」参照
- リバースコード (紫/白: 4 m) → 「リバースコードを接続する」参照
- スピーカーコード (0.25 m) → スピーカー (別売)(CJ-SPT300) (中継コードあり)
- 車速信号コード (若黄色: 0.3 m) → 車速信号取り出し箇所へ
- 中継コード (若黄色: 5 m)
- 圧着式コネクター (灰色)

## ディスプレイユニット、チューナーユニット、ナビゲーション本体を接続する

**ディスプレイユニット、チューナーユニット、ナビゲーション本体を接続する**

- ディスプレイユニット
- ユニット接続コード (2.5 m)
- チューナーユニット
- アンテナ本体 (コード 6 m)
- RCA中継コード (4 m)
- RGBコード (4 m)
- GPSアンテナ (コード 5 m)
- ピーコアンテナ (コード 5.5 m)
- ボイスコントロール用マイク (コード 6 m)
- ナビゲーション本体
- テレビモニター (4本のうち1本) をFM多重受信用として使用します。

**お願い**

本機はVGAディスプレイユニット専用です。必ず、同梱のVGA対応ディスプレイユニットを接続してください。コネクターは確実に差し込んでください。コード類は高温部を避け、クランプやテープで固定してください。必ず、付属のピーコアンテナをご使用ください。ピーコアンテナ入力コネクターにピーコアンテナ以外のコードを接続しないでください。故障の原因となります。テレビアンテナのコードは、ナビゲーションの電源コード、GPSアンテナのコード、RGBコードとはできるだけ離して配線してください。ボイスコントロール用マイクのコードは、誤認識の原因となるノイズを避けるため、他のコードとは離して配線してください。ゲーム機器を接続すると、映像が不安定になることがあります。

**お願い**

長さが足りないときは、ここをカッターナイフで切って、コードの二股部分を長くしてください。

**お願い**

FM多重放送を受信するために、アンテナエレメントは引き伸ばしてご使用ください。

**お願い**

コードの長さが足りない場合は、別売のGPSアンテナ延長コードをご使用ください (CA-LGP30D: 3m)。コードのコネクター部は防水になっていません。雨水などの水のかかる場所では使用しないでください。

**お願い**

奥まで確実に差し込んでください。ボイスワードを認識できない場合があります。

**ロック付きのコードの取り外しかた**

矢印の方向に押しながら、端子から取り外してください。

## リバースコードを接続する

**リバースコードを接続する**

チェンジレバーをリバース (R) に入れたとき点灯するバックランプ (後退灯、透明のレンズが付いたランプ) のプラス線にリバースコード (紫/白) を接続してください。

**お願い**

バックランプを確認してください。

**お願い**

圧着式コネクター

**お願い**

注) 圧着式コネクターを使用する場合は、端子を切り離すことを示します。

リバースコード (4 m) (紫/白)

## ボイスコントロール用リモコンを取り付ける

**ボイスコントロール用リモコンを取り付ける**

**お願い**

なるべくハンドル以外のところに取り付けてください。(「マジックテープを使って取り付ける場合」参照) ハンドルに取り付けてご使用になると、モニターの位置や取り付ける車種によっては、リモコンの信号をナビゲーションで受信しにくいことがあります。

**電池の入れかた**

使用電池: リチウム電池 (CR2032)  
電池寿命: 通常の使用状態で約10ヵ月間

**マジックテープを使って取り付ける場合**

運転の妨げにならない場所に取り付けてください。

**お願い**

電池の正極 (+) をよく確かめて入れてください。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。乳幼児の手の届くところに電池を置かないでください。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師にご相談ください。

## サイドブレーキコードを接続する

**サイドブレーキコードを接続する**

**お願い**

サイドブレーキに対する配線は安全と事故防止のため必ず行ってください。配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため配線は販売店または専門の業者にご依頼ください。サイドブレーキスイッチの位置は車によって異なります。下図はその一例ですが、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

**ハンドブレーキの場合**

**フットブレーキの場合**

**圧着式コネクターの接続方法**

圧着式コネクターを車両側配線コードの適当な位置に取り付けます。接続するコードが細い場合 (0.3 mm以下) 接触が不十分な場合がありますのでご注意ください。

① ナビゲーション本体側コードの先端をコネクターの穴に通します。

② コードがコネクターから抜けないよう注意しながらベンチなどでエレメントを押し込む。

③ パテンと音がするまで完全にカバーをかぶせます。

## ハンドルに取り付ける場合

**ハンドルに取り付ける場合**

**ご注意**

実際に運転する前に必ず、お客様のハンドル操作の妨げにならない事をご確認ください。ハンドル操作の妨げになる場合は、交通事故の原因になりますので、妨げにならない場所へ取り付けください。(「マジックテープを使って取り付ける場合」を参照してください。)

車の計器類の視野を妨げない場所に取り付けてください。エアバッグなど車の安全装置を妨げない場所に取り付けてください。付属のベルトでハンドルの内側にしっかりと固定してください。外側に取り付けたり、しっかりと固定していない場合は運転動作の妨げになり、交通事故の原因になります。危険防止のため、ハンドル操作中にリモコン操作は行わないでください。運転動作の妨げになり、交通事故の原因になります。

下の例は右ハンドル車の場合です。リモコンの信号をリモコン受光部に確実に送信するため、左ハンドル車に取り付ける場合はハンドルの右側に取り付けてください。(右図参照)

**ハンドルへの取り付けかた**

- ベルトでハンドルにしっかりと台座を固定する。
- リモコン本体を取り付ける。

**取り付けの角度の調整**

- 台座のねじをはずす。
- ハンドルに合わせて台座の角度を調整する。(3段階)
- ねじをしめて固定する。

**リモコンを台座から取りはずす場合**

つめを矢印の方向に押しながら、リモコンを取りはずす。

**お願い**

ボイスコントロール用リモコンを設置する角度や位置によっては、本機が信号を受信できないことがあります。設置する前に、その位置からの信号を受信することができるか確認のうえ、設置してください。

## 取り付け後の確認

**取り付け後の確認**

**お知らせ**

FMアンテナおよびピーコアンテナの取り付けチェック画面はありません。実際に走行して、受信できるかどうか確認してください。

メニュー画面 [情報] から [システム状態を見る] を選ぶ

ジョイスティックを左右に動かし、画面を切り替える

項目	確認内容
GPSアンテナ	常にON表示になっている。
スモールランプ	車のライトスイッチをONにする。[スモールランプ]表示がOFFからONに変わる。
サイドブレーキ	サイドブレーキを引く。[サイドブレーキ]表示がOFFからONに変わる。
リバース	車を停止させた状態で、チェンジレバーをリバース (R) レンジに入れる。[リバース]表示がOFFからONに変わる。
車速/パルス	安全な場所で車を走らせ、次に停車したとき、[車速/パルス]の数字が変化している。([パルスリセット])にカーソルを合わせ実行ボタンを押すと、パルス数が0にリセットされます。)
ACC電圧	11 V - 16 Vの範囲にある。
学習レベル	距離補正の精度を表します。レベル3が最も誤差の少ない状態です。[レベルリセット]にカーソルを合わせ、実行ボタンを押してレベルをリセットしてください。詳しくは、取扱説明書「カーナビゲーション操作編」を参照してください。

**お願い**

画面の表示内容がOFFのまま、車速/パルスの場合は数字が変化しないとき、ACC電圧が範囲外の場合は、もう一度、配線の確認を行ってください。

GPSアンテナの取り付け場所、受信状態の確認 (見通しの良い場所で行ってください。)

メニュー画面 [情報] から [システム状態を見る] を選ぶ

GPS情報を見る

**お願い**

3つ以上の衛星番号が受信中になっているのを確認してください。1つも受信中になっていない場合は、GPSアンテナの配線および取り付け状態を確認してください。

メニュー画面 [情報] から [システム状態を見る] を選ぶ

GPS情報を見る

FMトランスミッター機能の確認 (テレビ操作編参照)

- カーラジオの電源を入れ、FMに切り替えて受信周波数を76.0 MHzに合わせ、テレビの音声がカーラジオのスピーカーから聞こえるかご確認ください。

ボイスコントロール機能/DVDビデオ機能の確認 (ボイスコントロール/DVDビデオプレーヤー操作編参照)

実際にマイクに向かって発声し、ボイスコントロール機能が動作するかご確認ください。実際にDVDビデオを再生して、DVDビデオ機能が動作するかご確認ください。

画面位置の調整 (カーナビゲーション操作編参照)

画面の位置が気になる場合は、画面位置を調整してください。